

若い力が、気づきはじめた。



自分が変わっていく。

部活問題学習でつかんだもの、それは学級という固い団結の絆だと思ふ。一人一人の意気が怒りとなって語り合い、そして支え合っている。

全体学習が終わった時、参観していた男の先生がぼくのところにきて、「がんばったな。」と言ってくれた。ぼくはものすごくうれしかった。発表して本当によかったと思つた。この先生だけでなくほとんどの先生たちがこの学習の大切さをわかってくれたと思う。

このクラスで、この学年で、そしてこの板野中学校で燃やしたこの炎を、多くの先生たちがまた誰かにつないでくれたらと思う。

自分の思いを語っていくことによって、自分という人間が変わったと思う。以前の自分に比べて明るくなったと思うし、物事をよく見るようになった。そして、朝がさわやかに感じられ、人の優しさというものが見えてきたと思う。今日帰るときコスモスの花が太陽に照らされていた。まるでぼくに勇気をくれたような気がした。

過去を背負うのではなく、未来に希望を持ちながら、がんばりたいと思う。これからは時を越えていきたいと思う。支え支えられて、自分というものを見つめてがんばっていくことと思ふ。

今日帰るとき、女の先生から声をかけられた。「授業感動しました。」と言ってくれた。後でまったくいろいろな話しをしたらよかったと思った。でも、多くの人の心が動いてくれたのがうれしい。こう言ってくれる人は、学校に帰ってもがんばってほしいと思う。ぼくも人任せにならないようにがんばっていくつもりだ。

果てしない、そして長い道のりをこれからも光をたどり続け、空気を思いっきり吸って、仲間と共に歩み、足踏みすることがあっても、弱音を吐かず、希望のゴールへと進みたい。
(生徒の作文より)



板野中学校全体学習の様子

そして、大人たちをも動かしている。

この中学校では、学級での学習にとどまらず、学年や学校全体で、一人の思いを皆が共有し、部活差別解消のための学習を真剣に行っている。教師も生徒も互いに自分の思いを高め合ってきた。この学習に、保護者や地域の人々はもちろん、県内外からも多くの人たちが参加している。そして、生徒や教師の思いが共感を呼び、学校から町全体へ、そして、他の地域へも広がろうとしている。



(知ろう、考えよう、なくそう部活差別)

同和問題に対するあなたのご意見をお寄せください。徳島県 徳島県南和対開課 徳島市万代町1丁目4番(0886)211-2186